

廃棄物減量等推進審議会（平成28年度第1回）顛末

日時 平成28年11月1日（火）10時00分～11時30分

場所 市役所第3会議室

出席者 委員：軽米達也、小林静子、福田弘明、跡部昇一、高松慶子、吉田末子
（欠席委員）高橋穰二、長田壽弘、小野章、

事務局：市民生活部長 長沢和之、環境課長 関根嘉津幸
環境係長 末松千幸、環境係主査 鈴木茂喜

1. 開会（進行：関根課長）

2. 市長挨拶

3. 委員長挨拶（軽米委員長） 前段：機構改革に伴う市側事務局自己紹介

4. 報告事項（議長：軽米委員により進行）

1) 廃棄物処理及び指導実績について

※事務局（鈴木主査）より廃棄物の処理及びリサイクル事業の概要により平成27年度実績について説明

福田委員：転入者等のごみ分別についてどのような対応をしているのか。

事務局鈴木：転入者については、ごみ処理の分別について概要版等で説明。

2) 衛生用品の施設整備計画について

※事務局（関根課長）より資料1により説明

3) 資源回収ステーション看板の改修について

※事務局（鈴木主査）より資料により説明

吉田委員：枝・草の縛るひもについて荒縄・麻ひもで縛るように言われているが、町内ではビニールひもで縛って出しても持って行っている。見解は。

事務局末松：委託業者に確認します。

福田委員：外国人向けに看板を設置したという事を聞いたが、どのような内容か。

事務局鈴木：北の峰地区であるが、長期滞在者向けに北の峰町内会より要請があり、外国人向けの看板を設置できないかということで、北の峰地区資源回収ステーションに平成27年度、英語・中国語・韓国語・日本語の4か国語標記の看板を設置した。観光シーズンは未分別ごみが多数見られたが、閑散期には殆ど無い、各事業所にも事業所ごみの出し方について訪問説明をしてきたとこだ。

高松委員：資源回収ステーションは町内会で管理しているものだから、町内会未加入者は原則出せないと思うが、どうか。また地区外の人が出すごみについて何とかならないか。

事務局関根：町内会加入については、強制ではなく、あくまでも任意ということなので、ご理解を頂きたい。通常の窓口業務の中でも転入者については、町内会加入について説明してきているが、引き続き強化をしてまいりたい。

地区外排出者については、氏名等が判明した場合は、直接排出者に指導してい

るが、そのような状況があった場合は連絡をお願いしたい。

高松委員：資源回収ステーションから新聞等を自転車で運んでいる人を見かけるが、良いことなのか。

事務局鈴木：本年も数カ所から新聞等の持ち去りについて連絡を受けている。

1件は現場確認中に持ち去り者がわかったので、その場で指導してきている。今後もそのようなことがあった場合は、連絡をいただきたい。

現場確認をしながら、指導していきます。

跡部委員：町内会の加入の件で伺いたいが、連合町内会長会議で市役所職員が町内会未加入とのことで話題になったことがあったが、現状どのようになっているのか。

事務局長沢：実情を把握していないので、調査してみたい。

跡部委員：生ごみの関係で伺いたい。玉ねぎの皮について、生ごみに入れるとか固形燃料に入れるとかの話があるが、農村地区と市街地区の扱いについてお聞きしたい。

事務局関根：農村地区においては、農業として出される物については、事業者としての排出となる。基本的には資源回収ステーションは使えない。

市街地区においては、生ごみとして出してよろしいかと思う。

4) 粗大ごみ処理券のコンビニ販売実績について

※資料により説明。

インターネットを利用した申込について、現在検討中である。

軽米委員：始めて間もないこともあるかと思うが、宣伝が足りないのではと感じる。

継続して市民の利便性を考え、強化してほしい。

事務局関根：今後も継続して普及啓蒙を図ってまいりたい。

小林委員：粗大ごみを出すのに年寄は外に出すのが厳しい。

自分は業者を頼んで出している。お年寄りの粗大ごみ排出は今後検討されたら良いと思う。

事務局関根：今のところ家の中まで入って手伝うようなことまでは考えておりません。

5. 議 事

1) 富良野市一般廃棄物処理実施計画について

※事務局（鈴木）より、「富良野市平成28年度廃棄物の処理及びリサイクル事業の概要により説明。

軽米委員

事務局より説明がありました。今の説明に対し何か意見等ありますか。

軽米委員

ほかに委員の皆さんから質問等はございませんか？

8. その他

軽米委員

全体をとおして何か意見はありますか。お気づきの点があれば、事務局に連絡をいただくこととし、今審議会は以上でよろしいでしょうか。

9. 閉会

事務局（関根課長）